古河市立下辺見小学校

やさしく　かしこく　たくましく

下辺見小学校 学校通信 特別号
発行日　令和６年２月２９日
学校長　大谷　良明
児童数　３９６名

令和5年度　学校評価のためのアンケート結果（12月実施）

下記の数値は、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまり思わない」、「そう思わない」の4つの選択肢のうち、「そう思う」及び「ややそう思う」の肯定的な回答の割合（%）を合計したものです。青＝90%超　赤＝80%未満

		教職員	7月	12月	児童	低学年 7月	低学年 12月	中学年 7月	中学年 12月	高学年 7月	高学年 12月	保護者	低学年 7月	低学年 12月	中学年 7月	中学年 12月	高学年 7月	高学年 12月
やさしく	1	本校は、児童が「学校は楽しい」と感じるような指導や工夫に努めている。	95.0	100	学校は楽しいですか。	88.3	93.5	94.1	98.4	97.4	94.2	お子さんは、楽しく学校生活を送ることができている。	96.7	96.6	98.8	96.6	90.1	95.5
	2	本校は、児童の心の居場所となるような、温かな学級づくりに努めている。	95.0	100	あなたのクラスは、安心して仲よく生活できていますか。	84.7	94.4	94.9	95.1	95.7	95.0	お子さんの学級は、安心して仲よく生活できていると思う。	85.9	86.2	98.8	96.5	88.7	86.6
	3	本校は、児童が自己肯定感を高めるような場面の設定や指導を行っている。	85.0	100	自分には、よいところや得意なことがあると思いますか。	92.0	86.3	92.4	95.1	87.8	88.3	お子さんは、自信を持って何事にも取り組んでいる。	82.6	77.0	78.3	85.4	78.9	85.1
	4	本校は、きまりを守り、仲良く協力して生活することの大切さをしっかりと指導している。	95.0	100	あなたは、学校生活のきまりを守り、友だちと仲良く生活できましたか。	70.8	95.2	94.9	95.9	96.5	97.5	お子さんは、日常生活の中で、ルールやマナーを守り、生活することができている。	89.1	87.4	95.2	94.4	95.8	92.5
	5	本校は、児童が場に応じたあいさつや返事の大切さに気付き、励行できるような指導を、全ての教育活動を通して行っている。	85.0	90.9	あなたは、友だち・先生・家族・地域の方など、自分のまわりの人に対して元気なあいさつや返事ができましたか。	81.8	89.5	91.5	94.3	93.0	90.0	お子さんは、「おはよう」「行ってきます」等のあいさつや返事をきちんとすることができている。	90.2	89.7	91.6	94.4	95.8	91.0
	6	本校は、いじめに対して未然防止、早期発見、早期解決に努めている。	100	100	あなたは、「いじめを許さない」と思っていますか。	95.6	100.0	94.1	92.7	99.1	99.1	お子さんは、「いじめを許さない」という気持ちが高まっている。	82.6	83.9	90.4	95.5	93.0	97.0
かしこく	7	本校の授業は、「可視化」「焦点化」「言語化」を意識して授業を展開している。	75.0	95.5	あなたにとって、担任の先生の授業はわかりやすいですか。	91.2	95.2	96.6	95.1	99.1	96.7	お子さんは、学校の授業内容をおおかた理解できている。	75.0	83.9	89.2	85.4	83.1	79.1
	8	本校の授業は、児童が課題意識をもって主体的に学び合う活動を適切に位置付けている。	70.0	90.9	授業では、進んで考えたり、友達と教え合ったりすることができましたか。	81.8	92.7	96.6	93.5	93.0	98.3							
	9	本校の授業は、児童の論理的表現力や言語活動の向上に努めている。	70.0	81.8	あなたは、「式・図・言葉」「まず・次に・だから」などを使って、わかりやすく伝えていますか。	89.8	83.9	83.9	83.7	72.2	71.7	お子さんの表現力や語彙(ボキャブラリー)などは、豊かになっていると感じている。	81.5	82.8	84.3	85.4	71.8	80.6
	10	本校は、家庭学習を習慣化させるための手立てを工夫し、定着に努めている。	70.0	77.3	家では毎日、勉強できましたか。	92.0	94.4	90.7	90.2	93.0	92.5	お子さんは、家庭学習が習慣化し、自ら進んで取り組むことができている。	65.2	63.2	56.6	62.9	62.0	74.6
	11	本校は、年間読書50冊の達成を目指し、読書の楽しさにふれさせたり、読書の機会を設定したりするなど工夫している。	85.0	86.3	あなたは、50冊以上読むことを目標に、読書をがんばることができましたか。	75.9	79.0	78.8	79.7	69.6	75.0	お子さんは、家庭でも進んで本を読んでいる。	47.8	40.2	43.4	38.2	36.6	37.3
たくましく	12	本校は、体育の授業で運動量を確保したり、休み時間に外遊びを励行したりして、児童の体力向上に努めている。	95.0	95.4	あなたは、体育の時間や休み時間に、元気に運動できましたか。	87.6	92.7	90.7	93.5	83.5	77.5	お子さんは、進んで運動をしている。	66.3	65.5	63.9	62.9	62.0	62.7
	13	本校は、「早寝・早起き・朝ご飯」や規則正しい生活について、適切に指導している。	90.0	90.9	あなたは、「早寝・早起き・朝ご飯」ができましたか。	90.5	82.3	90.7	91.9	84.3	80.8	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活ができている。	82.6	78.2	86.7	82.0	77.5	74.6
	14	本校の給食では、献立の栄養について知らせ、好き嫌いなく食べられるように指導している。	25.0	95.4	あなたは、給食中、好き嫌いをしないで、よく食べることができましたか。	80.3	79.0	77.1	80.5	67.0	70.8	お子さんは好き嫌いをせず、栄養のバランスよく食べているなど、適切な食生活ができている。	51.1	63.2	75.9	74.2	63.4	71.6
	15	本校は、健康診断の結果をもとに医療機関への受診を促している。	100	100	あなたは、健康診断の結果に注意して、病院に行ってきちんと治そうとしていますか。	89.1	89.5	89.0	90.2	94.8	92.5	ご家庭では、学校での健康診断の結果を踏まえ、医療機関への受診を心がけている。	90.2	93.1	92.8	96.6	97.2	97.0
	16	本校は、「交通安全4つの誓い」や自転車乗車時のヘルメット着用の徹底を適切に指導している。	100	100	あなたは、「飛び出し禁止」「かどでは止まる」「道路でひろがって歩かない」「自転車に乗るときにはヘルメットをかぶる」など、交通ルールを守ることができましたか。	96.4	95.2	96.6	96.7	97.4	96.7	お子さんは、飛び出しや並列歩行、自転車乗車時の並列走行の禁止やヘルメットを着用するなど、交通ルールを守っている。	93.5	93.1	92.8	92.1	98.6	92.5
働き方改革	17	本校の教員は、常に児童の話を耳を傾け、悩みや不安に応えようと努めている。	95.0	100	先生は、あなたの話をよく聞いてくれますか。	95.6	98.4	96.6	97.6	98.3	97.5	学校は、お子さんの話に耳を傾け、悩みや不安に応えようとしている。	77.2	71.3	85.5	86.5	70.4	71.6
	18	本校は、教育活動の発信に努めている。	90.0	95.4	あなたは、おうちで学校の話をよくしますか。	82.5	90.3	86.4	85.4	86.3	83.3	学校の様子は、各種たより等やHP、お子さんの話を通して、よく伝わっている。	82.6	83.9	92.8	89.9	84.5	92.5
	19	本校の教員は人権感覚を磨き、その言動にも人権的に配慮している。	95.0	100	先生の「ことばづかい」はていねいですか。	98.5	98.4	94.9	94.3	83.5	80.8							
	20	本校はコンプライアンスを遵守し、不祥事が起きにくい学校である。	80.0	91.0														
	21	本校は、在校時間の短縮など、働き方が改善されつつある。	75.0	77.2														
					在籍人数	140	142	132	132	122	122		140	142	132	132	122	122
					回答数	137	124	118	123	115	120		92	87	83	89	71	67
					回答率 %	97.9	87.3	89.4	93.2	94.3	98.4		65.7	61.3	62.9	67.4	58.2	54.9

○学校評価について

本校は学校教育法第42条、学校教育法施行規則第66条、文科省の学校評価ガイドラインにもとづき、学校評価を行っております。その一環として以下のとおり、4つのチームが1,2学期末に実施した教職員・保護者・児童のアンケート結果と各種データをもとに自己評価を行いました。そして2月22日(木)、学校運営協議会委員による**学校関係者評価**を行い、その自己評価について、さらに検証・評価を行いました。

やさしく チーム　メンバー　◎中島(低)、鈴木(生)、舩橋(高)、島津(特)、今田(中)、飯田(低)　2023年2月

グループ目標	心ゆたかで思いやりのある児童を育成し、基本的な生活習慣の確実な定着を図る。				
	小目標	具体的な取組	検証(エビデンス)　※7月→12月	自己評価	次年度の改善方策
1	○元気なあいさつができる児童の育成	1 委員会によるあいさつ運動 (1) 全学級によるあいさつ運動の展開 2 学級指導を通して (1) あいさつの仕方を指導・統一する。 (2) あいさつ月間を設ける。	○児童アンケート :自分のまわりの人に元気なあいさつや返事ができた 88.4%→91.3% ○保護者アンケート :あいさつや返事をきちんとすることができている 92.3%→91.8% ○教員アンケート :あいさつや返事の大切さに気付き、励行している。 85.0%→90.9% ○保護者アンケートの自由記述では、「立哨の際、あいさつが返ってきてうれしい」の声があった(7月)。 ○市教委の計画訪問では、自分たちに対して、あいさつが活発であるとの講評あり(10月) ○更生保護女性会のみなさんから、あいさつが返ってくるようになったとのコメントあり(2月)	B	・あいさつ運動は継続し、意識の向上に努める。 ・学級では引き続き、あいさつの仕方を改善・指導する。
2	○いじめを許さない児童の育成	1 集会活動による啓発 (1) いじめ防止集会(いじめフォーラム) (2) 人権集会 2 道徳の授業を通して (1) 道徳の授業参観でいじめを題材にした内容を扱う。 (2) 生活アンケート等	○児童アンケート :「いじめを許さない」と思っている　96.2%→97.3% :学校は楽しい　93.0%→95.4% :学級は安心して伸よく生活できている　91.4%→94.8% ○保護者アンケート :「いじめを許さない」という気持ちが高まっている 88.2%→91.8% :楽しく学校生活を送っている　95.5%→96.3% :学級では安心して伸よく生活できていると思う　91.1%→90.1% ○教員アンケート :いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めている 100%→100% :「学校は楽しい」と感じるような指導や工夫に努めている 95.0%→100% :心の居場所となるような、温かな学級づくりに努めている 95.0%→100% ○いじめ認知件数　73件(4月～1月末まで　R4:18件) ○不登校件数　6件(4月～1月末まで　R4:6件)	A	・いじめフォーラムと人権集会の内容を検討し、充実を図る。 ・道徳の授業の充実を図る。 ・生活アンケート等により、いじめや不登校は認知後、すみやかにチームで対応する。

青:評価が90%以上　かなり成果が現れているもの
赤:評価が70%以下など　あまり成果が現れていないもの
黒:それ以外

A＝十分に達成, B＝ほぼ達成, C＝未達成　**本年度の総合的な評価**　A

＜やさしくチーム＞

・昨年度に引き続き、「あいさつ」と「いじめ」に特化して、取り組んできた。

・あいさつについては全学級であいさつ運動を設定したり、毎週、更生保護女性会のみなさんにご協力をいただき、少しずつであるが改善が見られている。保護者や地域の方からも肯定的なお声をいただくようになった。

・いじめについては、いじめ防止フォーラムや人権集会を通して、学校全体でいじめについて話し合った。12月のアンケートでは、「いじめを許さない」と思っている児童・保護者ともに7月よりも高まっている。

○学校関係者評価では全員から、自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。委員から、いじめについてはどのように認知しているのかとの質問があったが、学校はアンケート結果や相談、訴えから積極的にいじめを認知し、すみやかに対応しており、昨年度より認知数が増加していると回答した。

かしこく チーム　メンバー　◎小安(中)、佐野(教)、羽石(低)、渡邊(高)、立石(特)、柳田(特)　2023年2月

グループ目標	自ら考え、生き生きと表現することを楽しむ児童を育成する。				
	小目標	具体的な取組	検証(エビデンス)　※7月→12月	自己評価	次年度の改善方策
1	○生き生きと学ぶ児童の育成	1 授業の改善 (1) 「可視化」・「焦点化」・「言語化」を意識した授業を進める (2) 算数を中心に授業研究 ※県研修センターより講師招聘 (3) 振り返りの時間の確保	○児童アンケート :担任の授業はわかりやすい　95.4%→95.7% :授業中、進んで考えたり、友達と教え合ったりすることができた 90.0%→94.8% :授業中、『式・図・言葉』『まず・次に・だから』などを使って、わかりやすく伝えている　82.4%→79.8% ○保護者アンケート :授業内容をおおかた理解できている　82.1%→83.1% :表現力や語彙(ボキャブラリー)などが豊かになっている 79.6%→83.1% ○教員アンケート :「可視化」「焦点化」「言語化」を意識して授業を展開している 75.0%→95.5% :授業中、児童が課題意識をもって主体的に学び合う活動を適切に位置付けている　70.0%→90.9% :授業中、論理的表現力や言語活動の向上に努めている 70.0%→81.8% ○全国学テ:国語、算数ともに全国・県平均に届かず ○県学診テ:4, 6年生ともに、県平均超, 5年生も経年変化では大幅アップ。特に算数は4, 5年生で県平均に届く。	B	・「可視化」「焦点化」「言語化」について、より具体的な事例や教材を蓄積する。 ・模範となる授業(他校、指導主事等を含む)を参観する機会を設定する。 ・研究組織の見直しを図る。
2	○読書活動の充実	1 読書活動の充実 (1) ICT機器を利用した読書カードの導入 (2) 担任による児童の読書状況の把握 (3) 魅力ある学級文庫の整備	○児童アンケート :50冊以上を目標に、読書をがんばった　74.9%→77.9% ○保護者アンケート :家庭でも進んで本を読んでいる　43.1%→38.7% ○教員アンケート :年間読書50冊の達成を目指し、読書の楽しさにふれさせたり、読書の機会を設定したりするなど工夫している 85.0%→86.3% ○みんなにすすめたい1冊の本推進事業(1月末) 300冊以上:4名　50冊以上:70名(38.3%) ※R4 300冊以上:10名　50冊以上:184	C	・引き続きIT機器を活用した読書記録を進める。 ・朝読書の時間に担任による読み聞かせを週1, 2回実施する(1～3年)。 ・魅力ある学級文庫の充実を進める。児童の読みたくなる本を、児童の身近に整備する。

青:評価が90%以上　かなり成果が現れているもの
赤:評価が70%以下など　あまり成果が現れていないもの
黒:それ以外

A＝十分に達成, B＝ほぼ達成, C＝未達成　**本年度の総合的な評価**　B

＜かしこくチーム＞

・本年度は算数を中心とした学力向上と、読書の充実に重点的に取り組んだ。

・9月には県教育研修センターから講師を招き、算数の研究授業を実施し、授業力の向上に努めたところ、1月実施の学力診断テスト(県下一斉、4～6年生対象)において、県平均点を超える学年が複数現れ、特に各学年とも算数は大幅に向上することができた。

・読書については、タブレットを活用し、読書記録を進めてきた。今後も読み聞かせ団体の協力を得ながら、学級ごとにも読み聞かせの実施や学級文庫の充実を図っていく。

○学校関係者評価では全員から、自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。委員から読書Cの自己評価について、市の小学生読書目標(年間50冊90%)という目標設定が高すぎて実現が難しいのではないかという意見があった。

＜たくましくチーム＞

たくましくチーム　メンバー　◎相澤(中)、倉持(特)、木村(養)、細見(低)、大塚(高)、兼平(特)　2023年2月

グループ目標	運動意欲を高め、危険回避能力の向上を目指す。				
	小目標	具体的な取組	検証(エビデンス)　※7月→12月	自己評価	次年度の改善方策
1	○進んで運動する児童の育成	1　休み時間の外遊びを充実 (1)　週1回クラス遊び (2)　器具などの環境整備 2　栄養指導の充実 (1)　外部講師による栄養教室 (2)　給食委員会による放送(一口メモ、一口食べよう運動) (3)　学級活動での給食指導	○児童アンケート ：体育の時間や休み時間に、元気に運動できた　87.3%→88.0% ○保護者アンケート ：進んで運動をしている　64.2%→63.8% ○教員アンケート ：体育では運動量を確保したり、休み時間に外遊びを励行したりして、体力向上に努めている　95.0%→95.4% ○体力テスト　A+B　43.3%(R4県平均44.3%) ただし3～6学年で県平均超　Aの割合も大幅増加 D+E　28.1%(R4県平均25.7%) ○児童アンケート ：給食中、好き嫌いをしないで、よく食べることができた　75.1%→76.8% ○保護者アンケート ：好き嫌いをせず、栄養のバランスよく食べているなど、適切な食生活ができている　63.0%→69.5% ○教員アンケート ：献立の栄養について知らせ、好き嫌いなく食べられるように指導している　25.0%→95.4%	B	・ロープ、バトン、竹馬、一輪車に続き、運動環境を整備する。 ・瞬発力や敏捷性を必要とする「反復横跳び」の結果が低い。そのため遊具を活用したサーキット・トレーニングを充実させる。
2	○学校生活での児童の安全の確保	1　児童の安全の確保 (1)　交通安全教室などの安全指導 (2)　下校集会、立哨指導、通学路の危険個所の確認 (3)　避難訓練の充実(実際に即した内容) (4)　学級活動での指導	○児童アンケート ：『飛び出し禁止』『かどでは止まる』『道路でひろがって歩かない』『自転車に乗るときにはヘルメットをかぶる』など、交通ルールを守ることができた　96.8%→96.2% ○保護者アンケート ：飛び出しや並列歩行、自転車乗車時の並列走行の禁止やヘルメットを着用するなど、交通ルールを守っている　94.7%→92.6% ○教員アンケート ：「交通安全4つの誓い」や自転車乗車時のヘルメット着用の徹底を適切に指導している　100%→100% ○交通事故件数　本年度0件	A	・交通ルールの徹底のため、集団下校時は毎回、教員が児童についていき、事故防止の意識を高めていく。

青：評価が90%以上　かなり成果が現れているもの
赤：評価が70%以下など　あまり成果が現れていないもの
黒：それ以外

A＝十分に達成，B＝ほぼ達成，C＝未達成　**本年度の総合的な評価**　B

・昨年度に引き続き、体力向上と交通安全に特化して取組を行った。
・体力テストはその得点に応じてA～Eの5段階に分かれており、今年度はそのうち、A＋Bの割合が3～6年生において県平均を超えることができた。ただし、D＋Eの割合も増加し、二極化の傾向にある。次年度からは実態に応じた体力強化を図っていく。
・食事の好き嫌いについては、あまり望ましい結果が得られなかった。今後、家庭の協力も得ていきたい。
・児童の安全確保という目標においては、児童・保護者ともに高い評価であった。今後も通学班や自転車の乗り方をはじめ、交通ルールを守ることへの徹底を図っていく。
○学校関係者評価では全員から、自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。委員からは小学生ではないが、最近、中学生など自転車の乗り方が心配であるとの声があった。

＜働き方改革チーム＞

働き方改革 チーム　メンバー　◎教頭、北村(務)、新井(低)、藤森(中)、涌井(高)、武澤(特)　2024年2月

グループ目標	働き方改革について学校・家庭・地域で考えるための土台づくり				
	小目標	具体的な取組	検証(エビデンス)　※7月→12月	自己評価	次年度の改善方策
1	○超過勤務時間45時間以内の実現	1　定時退勤日(毎週水曜日)を遵守する。 2　より一層の業務改善を図るため、アイディア募集のアンケート等を実施する。	○教員アンケート：在校時間の短縮など、働き方が改善されつつある　75.0%→77.2% ○超過勤務時間　平均32:23時間 45時間以内の職員の割合　80% ○業務改善のアイディア募集では、繁忙期の5時間授業の実施、学年だよりの定型化などがあった。	B	・定時退勤日(毎週水曜)を継続し、定着させる。 (5時間授業　木→水へ) ・常時、業務改善のアイディアを募集する。 ・各チームの活性化による業務平準化を図る。 チーム内での役割分担を行う。
2	○コンプライアンスの遵守	1　校内コンプライアンス研修の企画・運営	○教員アンケート ：本校はコンプライアンスを遵守し、不祥事が起きにくい学校である　80.0%→91.0%	A	・計画的なコンプライアンス研修を継続する。 ・コンプラ研修では、当事者意識をもった研修になるようボトムアップ型の研修を実施する。 ・県の通知、ONE IBARAKI等を活用した情報共有を充実させる。

青：評価が90%以上　かなり成果が現れているもの
赤：評価が70%以下など　あまり成果が現れていないもの
黒：それ以外

A＝十分に達成，B＝ほぼ達成，C＝未達成　**本年度の総合的な評価**　B

・本チームは超過勤務時間の削減とコンプライアンスの遵守について取組を行った。
・定時退勤日の遵守、業務改善については一定の成果が見られ、超過勤務時間については減少傾向にある。また、教員アンケートでは働き方の改善がされているとの意識が高まりつつある。
・コンプライアンスについては、月１回の校内研修等を通して、確実に意識が高まりつつあり、教員アンケート「本校はコンプライアンスを遵守し、不祥事が起きにくい学校である」では91%に達した。
○学校関係者評価では全員から、自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。委員からは、教員の働き方改革について、定時退勤日をもっと増やしてもいいのではないか、学校の働き方改革の趣旨について保護者への広報が不十分ではないかとの意見があった。

児童及び保護者アンケートの自由記述につきましては、２月発行ずみの学校だよりにもありますように、全文を全教員で読み合わせ、課題を共有し、対応できるものからすみやかに改善に取り組んでおります。また、すべてではありませんが、いただいたご意見について、学校の考えや回答についても掲載させていただきましたので、ご参照ください。